



県央かわら版

第 11 号

平成25年8月1日発行

発行者

一般社団法人県央研究所

残暑お見舞い申し上げます

熱中症を招く「かくれ脱水」 油断は禁物

■自覚なき脱水症状 「かくれ脱水」とは...

人間の体内にある体液はたくさん水分と様ざまな成分で形成されています。大人の体重の六〇％は体液なのです。体液の多くは水分ですが塩分なども含まれています。体内の水分が少なくなると、脱水で体に出る状態が「脱水症」です。症状が出ない状態の脱水もありこれが「かくれ脱水」と呼ばれています。

■脱水症状で起こる症状

脱水の症状は程度によって様々ですが、倦怠感、しびれ、脱力感から痙攣、意識障害まで起こりますので、脱水症を侮ってはいけません。

体重の約2% ↓ 喉の渇き
体重の約3% ↓ 強い渇き、ぼんやり、食欲不振
体重の約4% ↓ 皮膚の紅潮、体温上昇、疲労困憊など

体重の約8%~10%で身体同様、痙攣など脱水症と熱中症は、体液減少が関係する部分で共通点があります。高温多湿の環境では汗が乾きにくいために、体温を下げるシステムが作用しないので体温が上昇してしまいます。また水分が不足すると、汗の分泌が減るため更に体温が高く続きます。これが熱中症です。体温を下げるシステムが働くと汗をたくさんかきますので脱水症状の危険が出てきます。つまり、熱中症と脱水症に対しては水分補給と共に

熱中症を疑った時の現場での応急措置

- ①涼しい環境へ
 - ②脱衣と冷却
 - ③水分・塩分の補給
 - ④医療機関へ運ぶ
- 自力で水分の摂取ができない時

環境省「熱中症環境保健マニュアル」より



通じた治療を行うこととなります。喉の渇きを感じた時点で体重の2%の水分が失われているのでこの時点からの対策をすることが必要です。■かくれ脱水対策で上手に熱中症を予防

YAHOO!ニュース 7月22日配信より

熱中症対策に「常温ドリンク」が適している

熱中症対策には水分を十分に補給することが大切だが「高齢者や病気をもっている人は、冷たい飲料を飲むのは逆効果になる場合がある」という。むしろ「常温飲料がおすすぬ」と話す日本薬科大学学長 丁 宗鐵氏。「お年寄りや体の弱い人は氷水のようなものだと量のめないので十分な水分補給になっていなかったのです。」

消化器は約37度を下回るとうまく機能しないといわれる。冷えた水などを飲んで胃が冷えると、温度を戻そうと体内の血液や水分が急速に胃の周辺に集まる。猛暑で脱水症状気味のところに水分や血液が一部の器官に集中することで更に脱水症状が進むという。そのうえ脳や心臓、腎臓など血液が足りなくなるので高齢者や基礎疾患のある人の場合だと、最悪死に繋がることもあるという。「若くて元気な人は冷たいものを飲んでも構いませんが、高齢者などにとっては15度〜20度、ちょうど井戸水位が適正な温度です。」(丁氏)

(週刊朝日7月26日付より)

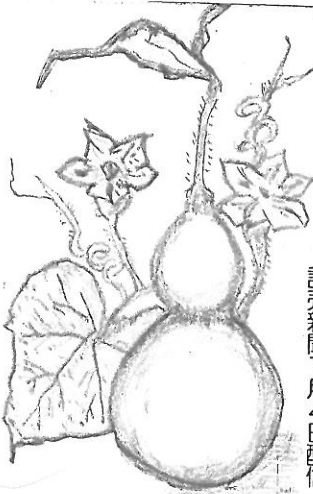
ヒヨウタンの実食べ中毒症状

大阪茨木市の市立小学校の理科の男性教師が授業中、4年生の児童28人に校内で栽培しているヒヨウタンの実を食べさせ、このうち17人が嘔吐するなどの中毒症状を起した。実に含まれる「ククルビタシン類」という苦味成分が原因と考えられる。

発表によると教諭は4年生5クラスの授業で希望した児童に実を切って食べさせた。児童らは嘔吐や腹痛下痢などの症状が出て3人が病院で治療を受けた。

ククルビタシン類はウリ科の植物に広く含まれており、多く食べた実を食べると中毒症状が出る可能性がある。

読売新聞7月4日配信



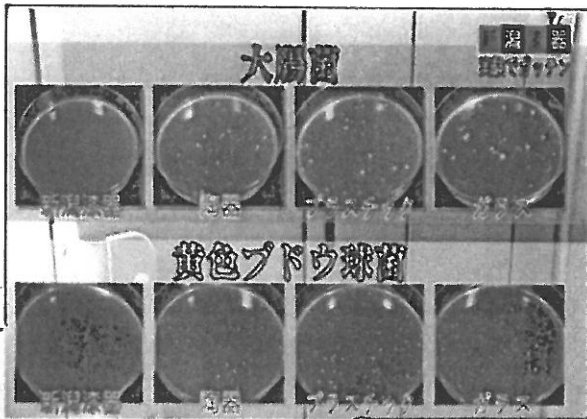
NHK新潟放送局 地域番組「金よう夜 きらっと新潟」に取材協力いたしました。

6月21日(金) 放送された JAPAN BEAUTY~新潟漆物語~ は、新潟漆器と村上木彫堆朱にスポットを当てた番組でした。

この番組に弊所も「知って得する漆の効能」のコーナーで漆には抗菌効果があることについて、試験協力を行いました。

また、この番組はNHKワールドプレミアムでも放映されました。

新潟漆器・陶器・プラスチック・ガラスの4種類の器に大腸菌と黄色ブドウ球菌の抗菌効果試験を実施し、菌を植えた培地を比較



検査技師 茨木 和雄

これだけ「漆」というものが抗菌性を有している可能性があるのではないか... 考えられています。びびるまでです。

皆さまからの情報・ご意見を

お待ちしております

県央かわら版では食品・環境等を中心に情報を発信しております。取り上げていただきたいものや、旬な話題等がありましたら、お気軽にご連絡ください。

一般社団法人県央研究所 県央かわら版事務局

電話 (0256) 46 8311

FAX (0256) 46 8310

E-Mail: info@kenchi-labo.jp

異物混入事件

パンや菓子に針

千葉県で5件相次ぐ

流山市の「シャトレーゼ」で販売されたどら焼きの中に長さおよそ4センチほどの縫い針が入っているのに市内の女性が食べた際に気づき、店に警察に届けた。

流山市の2つのコンビニエンスストアで販売されたパンからも針が見つかった。

印西市のスーパーで販売されたパンからも針が見つかった。

千葉県美浜区のスーパーからは「客が4月に購入し家庭で冷凍していたパンからも針が見つかった。」と届け出があった。いずれもけがはなかった。警察は何者かが針を混入させたとして偽計業務妨害の疑いで捜査し、関連を調べている。

NHK NEWSWEB 7月2日

群馬では鳥肉やアイスに

縫い針混入

群馬県伊勢崎市のスーパーで7月7日、食品に縫い針が混入していた、という届け出が伊勢崎署に3件あり、偽計業務妨害の疑いで調べている。5日夜~6日午前にかけてスーパーで販売された食パンと鶏肉から、また7日夜に別のスーパーで販売されたアイスからそれぞれ4~5センチの縫い針1本が見つかった。買った人にけがなどはなかった。